

様式第2号(第6条関係)

経常建設共同企業体 入札参加資格審査申請書

年 月 日

美郷町長 様

共同企業体の名称	
代表者の住所地	
商号及び代表者	印
構成員の住所地	
商号及び代表者	印
構成員の住所地	
商号及び代表者	印

このたび、連帯責任によって請負工事の共同施工を行うため、上記のとおり共同企業体を結成したので、美郷町が発注する建設工事の入札に参加したく、別添指定の書類を添えて入札参加資格の審査を申請します。

また、次の権限を当共同企業体代表者に委任します。この場合の使用印は次のとおりです。

【委任事項】

- 1 工事入札及び見積に関する一切の権限
- 2 工事請負契約に関する一切の権限
- 3 工事完成保証に関する一切の権限
- 4 工事請負代金及び前払金の請求、受領に関する一切の権限
- 5 上記権限内の範囲内において、復代理人を選任する権限
- 6 その他工事の施工に関し、諸届、諸報告の提出に関する一切の権限

使 用 印

様式第3号（第7条関係）

経常建設共同企業体協定書

（目的）

第1条 当企業体は、次の事業を共同連帯して営むことを目的とする。

（名称）

第2条 当企業体は、
経常建設共同企業体（以下「当企業体」という。）と
称する。

（事務所の所在地）

第3条 当企業体の事務所は、次のとおりとする。

所	在	
---	---	--

（成立の時期及び解散の時期）

第4条 当企業体は、
年 月 日に成立し、その存続期間は2年とする。ただし、
2年を経過しても、当企業体に係る建設工事の請負契約の履行後3か月を経過するまで
の間は、解散することができない。

2 前項の存続期間は、構成員全員の同意を得て、これを延長若しくは短縮することが
できる。

（構成員の住所及び名称）

第5条 当企業体の構成員は、次のとおりとする。

所	在	地	
商	号		
代	表	者	
所	在	地	
商	号		
代	表	者	

（代表者の名称）

第6条 当企業体は、
を代表者とする。

（代表者の権限）

第7条 当企業体の代表者は、建設工事の施工に関し、当企業体を代表して、美郷町と折
衝する権限並びに自己の名義をもって入札及び見積書の提出、工事請負契約の締結、請
負代金（前払金及び部分払金を含む。）の請求、受領及び当企業体の属する財産を管理す
る権限を有するものとする。

(構成員の出資割合)

第8条 各構成員の出資割合は、次のとおりとする。ただし、当該建設工事について、美郷町と契約内容の変更増減があっても、構成員の出資の割合は変わらないものとする。

構 成 員	出 資 割 合
	%
	%

2 金銭以外の出資については、時価を参酌のうえ構成員が協議して評価するものとする。

(運営委員会)

第9条 当企業体は、構成員全員をもって運営委員会を設け、建設工事の完成に当たるものとする。

(構成員の責任)

第10条 各構成員は、建設工事の請負契約の履行に関し、連帯して責任を負うものとする。

(取引金融機関)

第11条 当企業体の取引金融機関は、
とし、代表者の名義により、
設けられた別口預金口座によって取引するものとする。

(決算)

第12条 当企業体は、工事^{しんぐ}竣工の都度当該工事について決算するものとする。

(利益金の配当の割合)

第13条 決算の結果利益が生じた場合には、第8条に規定する出資の割合により構成員に利益金を配当するものとする。

(欠損金の負担の割合)

第14条 決算の欠損金が生じた場合には、第8条に規定する出資の割合により構成員が欠損金を負担するものとする。

(権利義務の譲渡の制限)

第15条 本協定書に基づく権利義務は、他人に譲渡することができない。

(工事途中における構成員の脱退に対する措置)

第16条 構成員は、美郷町及び構成員全員の承認がなければ、当企業体が建設工事を完成する日までは脱退することができない。

2 構成員のうち工事途中において前項の規定により脱退したものがあつた場合には、残存構成員が共同連帯して建設工事を完成する。

3 第1項の規定により構成員のうち脱退したものがあつたときは、残存構成員の出資の割

合は、脱退前に有していたところの出資の割合を残存構成員が有している出資の割合により分割し、これを第8条に規定する割合に加えた割合とする。

4 脱退した構成員の出資金の返還は、決算の際行うものとする。ただし、決算の結果欠損金を生じた場合には、脱退した構成員の出資金から構成員が脱退しなかった場合に負担すべき金額を控除した金額を返還するものとする。

5 決算の結果利益を生じた場合において、脱退構成員には利益金の配当は行わないものとする。

(工事途中における構成員の破産又は解散に対する処置)

第17条 構成員のうちいずれかが工事途中において破産又は解散した場合においては、前条第2項から第5項までを準用するものとする。

(解散後の瑕疵担保責任)

第18条 当企業体が解散した後においても、当該工事につき瑕疵があったときは、各構成員は共同連帯してその責に任ずるものとする。

(協定書に定めのない事項)

第19条 この協定書に定めのない事項については、運営委員会において定めるものとする。

外 社は、上記のとおり経常建設共同企業体協定を締結したので、その証拠としてこの協定書 通を作成し、各通に構成員が記名なつ印し、各自所持するものとする。

年 月 日

所在地

商 号

代表者

印

所在地

商 号

代表者